

協和木材株式会社

KYOWA MOKUZAI CO.,LTD.



1.事業の概要

▶ 昭和28年創業以来林業に従事し、地域の林業資源を商品として提供

▶ 現況（平成28年度）

立木購入と素材生産

主伐 400ha 間伐 200ha 素材生産量 200,300m³

製材

原木消費量 334,760m³

製材品生産量 117,848m³

集成材

生産量 41,500m³

工場所在地：福島県埴町 埴工場 集成材工場
山形県新庄市 新庄工場

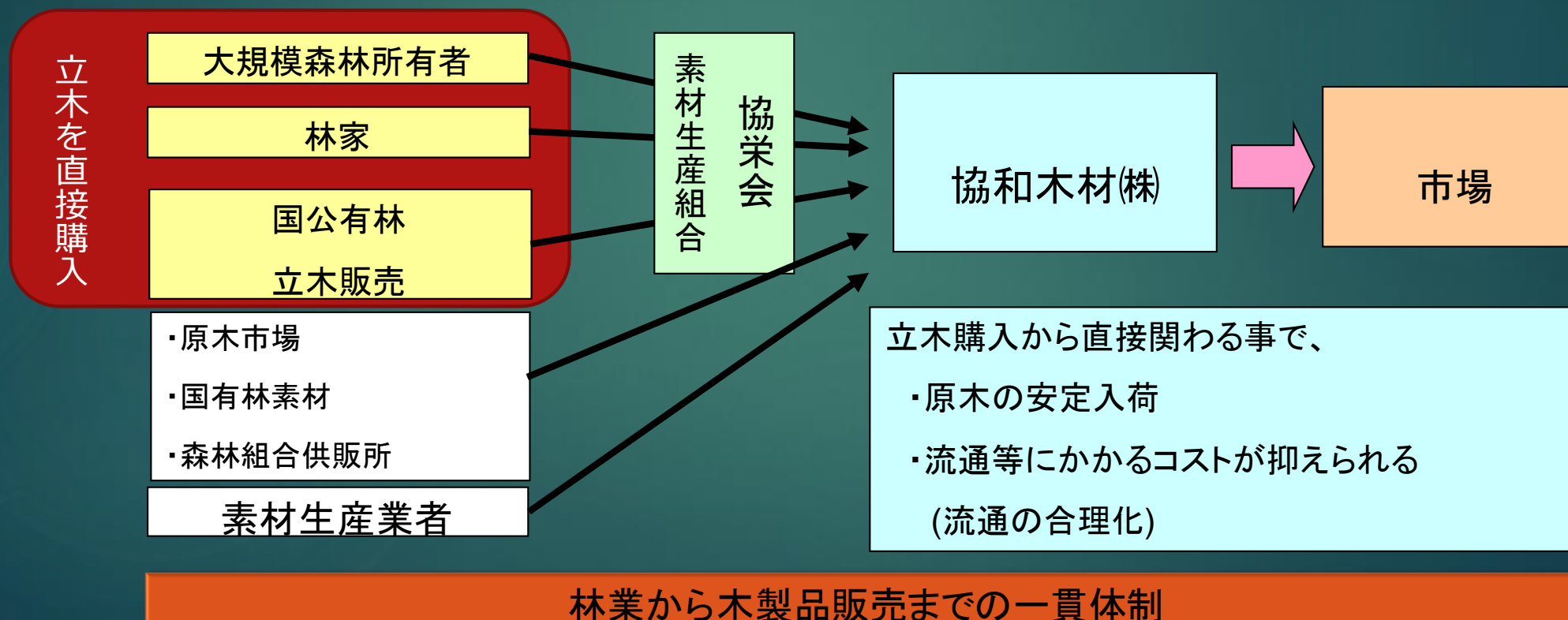


2. 林業経営及び素材生産の取組

1. 林業との深いつながり

主伐・間伐・地ごしらえ・作業道作り 資産として山林管理のアドバイス

2. 協栄会による素材生産業者の組織化



3.国産材製材加工の取組

1.製材



機械等級区分製材

2.集成材

杓臼ツトからの国産杉材へ



4.その他林業品

木質チップ

- ・紙パルプ
- ・バイオマス発電
- ・木質ボード

3.2×4 ディメンションランバー製材

SPFからの国産杉材・桧材へ



4. 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の 推進に向け、国・自治体等が取り組むべき施策

・ 林地境界と所有者の明確化

- ・ 国土調査の完成
- ・ 持分所有の整理
- ・ 不在村地主の連絡法



・ 県市町村の林業施策の一貫性の確保

- ・ 専門職の配置

・ 公共建築の木造化推進

- ・ 機械等級JAS材の普及
- ・ 大規模木造建築の防耐火基準の見直し



5. 森林の管理経営を意欲ある林業経営者に 集積・集約化するため必要な取組

1. 経済林として林業経営が成り立つ山林

- ・ 協和木材の取組 伐採跡地の所有移転
 共有林の単有化



2. 収益がほぼゼロの山林

- ・ 広葉樹林化などの育林費用と所有コスト低減化
 ～ 間伐から漸伐に（天然更新）～



3. 保安林として災害防止・水資源・大気環境保護を主目的とする山林

- ・ 針葉樹を造林放置された保安林をどうしたらいいか、民間では対応不可能

